



【お庭づくりの極意】 ～最も大切な剪定と誘引時期～

6～7月上旬が剪定の適期です。9月以降は来年の花芽を落とすことになるため、剪定はしないでください。枝の状態によって切る位置を変えることで勢よく伸びる若芽が生えます。樹形を変えず、花付きをよくしたいときは、若芽を根元から完全に切り落とします。大きくしたいときは、若芽を誘引して枝葉を分岐させたい位置で切るか、若芽を切らずに誘引します。誘引時期は、剪定後や秋がおすすめです。

鉢植えの手順



①根鉢(根と土の塊)を崩さないように抜く。苗よりふた回り大きな鉢に鉢底ネットと園芸培養土を入れて、仮置きする。②隙間を埋めるように少しずつ土を加え、苗を安定させる。③ツルの誘引のため、支柱を立て、ビニタイ(針金にビニールがついたもの)でゆるく固定しておく。④鉢底から水が流れ出すまで、たっぷりと水やりする。早春と花が咲いた後に肥料を与え、根が鉢いっぱいになり、鉢底穴から飛び出してきたら鉢増しのタイミング。鉢植えである程度成長したら、地植えします。

地植えのポイント

植え付ける時期と準備が大切です。10～11月に日当たり・風通し・水はけのよい場所に植えましょう。準備は植える2週間前から行います。

【手順】①直径・深さ60cmの穴を掘る。②浅い土と深い土を入れ替え、掘り起した土にバーク堆肥を3割混ぜる。③掘った穴の後ろに、枝を誘引するためのフェンスやアーチを立てる。伸びた枝を地面に対して水平になるように誘引していくと、花つきが多い枝に育ちます。



園芸はじめての1歩!

3年かけて理想の庭づくりへ

写真・文：富山 昌克

ガーデンを演出するとき、いかに立体的に植物を配置するかがポイントです。連載2年目は、お庭の中景を彩る草丈が1m前後の代表的な園芸植物を紹介していきます。



No.6 キモッコウバラ



常緑の葉を持つキモッコウバラ。トゲがないため誘引しやすく、丈夫で育てやすい品種です。春に黄色の直径約3cmの八重の花が咲き、庭のアーチやフェンスを華やかに演出します。香りもたのしみたい場合は、シロモッコウバラを植え付けます。

開花期間 4月中旬～5月上旬

水やり 鉢植え：土の表面が乾いたらたっぷり水やり。

地植え：降雨のみで育てられます。

保管方法 日当たりのよい場所

“トミー”こと

富山先生をご紹介!

とみやま まさかつ

富山 昌克 さん

藤井寺市在住の園芸研究家。昭和63年よりテレビやラジオなどに出演。農業大学や専門学校でも講師を勤め、市緑化推進協議会・景観審議会・教育委員会などでも委員を兼任。著書多数。植物バイオテクノロジーの研究者兼実務者。

次回は7月号予定 ブルーベリーの栽培方法

他の草丈が1m前後の植物も市ホームページで紹介しています!また、園芸に役立つ動画も市公式YouTubeで公開中!

ぜひご覧ください!



▲ホームページ ▲YouTube